

すずらん会だより 105号

2026年1月



ふくしの森のコンサート&バザール

11月29日(土)福祉の森会館にてコンサート&バザールがとり行われました。二階視聴覚室にて満席となり私達家族会役員は入場できないほどとなり、あの軽快な音楽を聴くことができず、ちょっぴり残念でしたが、たくさんの方々に来て頂きありがとうございました。

11時からほっと cafe の内外でバザーを行いました。時間より前に来られ、時間になるのがまちきれないといった方も沢山おられ、用意した野菜の完売、皆さんから寄付して頂いた物品もあれよあれよという間に、そして手芸品も沢山買って頂き大盛況のうちにおわることができました。

寄付して頂いた方、そして手芸品を作って下さった方、また、野菜を育て用意して下さい下さった方々に感謝申し上げます。そして、なによりも買って下さった方々に感謝致します。

ほんとうにありがとうございました。

M・O

インクルーシブフェスティバル

毎年楽しみにしているインクルーシブフェスティバル♪今年はおオープニングセレモニーから出席する事ができました。古河吹奏楽団による迫力のある演奏で思わず口ずさんでしまう程最初からテンションが上がりました。続いて表彰式、こちらは小学生から中学生まで立派な態度で受賞されていました。そしてふれあいの方々の受賞の時には、より大きな拍手をおくりました。

外では福祉施設や特別支援学校の販売があり、私の娘も疲れた表情をみせながらも最後まで頑張っていました。美味しそうな匂いに誘惑されながらも、唐揚げはガマンし、手作りの陶器、カレンダー、コキアのほうき、木製鍋敷き、フルーツ大福、パウンドケーキ etc 持ちきれず何度も車へ運びました。どれもこれも、温かみのあるものでした。

残念ながらメインの講演会は少ししか聞く事ができませんでした。とても楽しく1日を過ごせました。来年はみなさんもぜひいらしてください。

E・K

定例会・保健所との共催

11月25日(火)独協医科大学在宅看護科の木村由美先生による～精神障害者を支える家族の向き合い方～自分らしい生活を再構築するプロセスについての講座がありました。話の聞き方産業カウンセラーを5年やられていたという。学生の教育・家族の研究・統合失調症の研究など行っているそうです。

◎ 本人のかかわり方・生き方1つ、対応の仕方でも違う

◎ プレッシャーにならないように距離をもつこと

◎ 家族が自分らしく(自分の生活を)大事にする必要がある

向き合い方、病気を理解し否定せず共感的に聞く姿勢が大切。過度な干渉をさけ、自立を尊重し、家族自信もストレスを溜めず地域機関に相談する事が重要・・・

焦らず相手のペースを大切に接し見守りサポートをしていけるように気をつけたいです。

K・M

会長会議(水戸)

12月11日(木)会長会議に出席しました。

「声をあげることのたいせつさ」～家族会の皆様へのメッセージ～を社会福祉法人ひだまりの会の理事長横山泰助さんのお話を聞きました。私の記憶に残ったお話で、ネイティブアメリカンの人々の教えの話です。世の中には二種類の間人があるという考えがあり、『兵士』と『戦士』。『兵士』として生きる人は自分の周りの人の言葉を素直にうけとめて、従順に行動できる人、つまり、自分以外の誰かの意志を自分の行動に移せる人。『戦士』として生きる人は誰からの支持も命令も受けず、自分が望む社会を実現するために、自主的に何かを始められる人、でも「大切なのは双方のバランス」だと。今の日本の教育だと、決められた事を素直に出来る人が認められていく教育。これでは「兵士」ばかりが育ち、自らの意志で行動できる「戦士」は育ちにくいという事で、常に自分が“本当の自分の声”に正直に行動できているか、いつも意識しなければならぬとの事。困っている事はひとりで抱え込まないで、自分からいろいろな所にまずは声をあげて行動していこうという事かな?それがすぐ解決につながらなくても・・・

声を上げるってなかなかできることでもないけれど、身近なひとにささやいていく事からでもいいですよ。

K・A

問い合わせ/連絡先: 茨城県古河市新久田 271-1

福祉の森会館(特定非営利活動法人ふれあい内)

☎/fax: 0280-48-6719 e-mail: info@fureai-net.org